

Q1 投入と引き上げのタイミングはいつですか？

A 活着前に投入すると苗の生育が妨げられる可能性があるため、田植え3～5日後を目安に苗が活着してから投入してください。活着後は投入まで日数が空きすぎると先に雑草の生育が始まってしまうため、活着後はすみやかに投入してください。また代かきから田植えまで3日以上空く場合も代かき後から投入することを推奨します。引き上げのタイミングは投入から3～5週間後です。

Q2 稼働時間の目安はありますか？

A 投入から3～5週間、1日当たり2時間以内/10aの稼働を推奨しています。過剰な稼働によって生育が妨げられる場合もありますので、ほ場面積と苗の状態に合わせて稼働時間を調整してください。また夜間は雑草が光合成することがなく、アイガモロボも太陽光発電ができず稼働停止してしまうため、ほ場面積に関わらず日中最大10時間程度までの稼働を推奨します。

Q3 稲を倒しながら動いていますが大丈夫ですか？

A 通常はアイガモロボ通過後、しばらくすると倒れた稲は起き上がります。やわらかく弾力性のあるブラシを採用しているため、稲生育への影響は最小限に抑えられます。ただし、アイガモロボの必要以上の稼働などにより、丸1日以上苗が起き上がらない場合は一時的に稼働を止めてください。

Q4 ほ場により抑草効果に違いはありますか？

A 土の表面が硬くなったり、砂質などの土質でにごりが発生しにくい場合は、十分な抑草効果が得られないことがあります。雑草の量・種類によっても効果は異なりますので、雑草の発生量が多い場合は除草機などを組み合わせた雑草対策を推奨します。

Q5 除草剤と併用できますか？

A 併用できません。アイガモロボが土壌表面の除草剤の層をかき混ぜてしまうため、除草剤の効果がなくなってしまいます。ご使用の場合は、アイガモロボを引き上げた後で散布してください。

オプション部品

名称	コード
バッテリー	NGOP E010 25 00
充電器	NGOP E090 25 00

保証について

- アイガモロボの故障に対するメーカー保証は1年です。なお、アイガモロボによる抑草結果を保証するものではありませんので、収量の補償や抑草結果を得られなかったことに起因する製品の返品は承ることができません。
- 本機には保証書が添付されています。●盗難による補償はいたしかねます。

商標について

- AndroidはGoogle LLCの商標です。
- Bluetoothは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標または登録商標です。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- iOSは米国その他の国におけるCiscoの商標または登録商標です。



ISEKI

井関農機株式会社

〒116-8541 東京都荒川区西日暮里5丁目3番14号
http://www.iseki.co.jp
7085-900-2913-0
2024年12月作成

製品についてのご相談・ご意見は下記の取扱店までご連絡ください。

担当者

Q6 悪天候でも稼働できますか？

A 発電量が低下するような悪天候時でもバッテリーに残った電力で稼働します。ただし、横転するような強風や落雷などの荒天の場合は、一時的に引き上げてください。
雨天続きの場合
バッテリーの電力が足りなくなってアイガモロボが動かなくなることがありますが、雑草の生育も緩慢になるため抑草効果にも大きな問題は発生しません。またバッテリーを取り外し、オプションの充電器で充電することも可能です。

Q7 スマートフォンなしでも稼働できますか？

A アイガモロボは田んぼに浮かべて電源を入れるだけで動作しますが、稼働時間の設定や航行軌跡の確認など、ロボットの効果を最大限に引き出すための専用アプリがございますので、スマートフォン端末のご用意を推奨します。専用アプリはAndroid及びiOS端末に対応しています。
※スマートフォンとアイガモロボの接続方式はBluetoothです。
※スマートフォン本体及びスマートフォンの通信契約はお客様自身でご用意ください。

Q8 変形ほ場でも使用できますか？

A 変形ほ場であっても、あぜにぶつかった場所の位置情報を用いてアイガモロボがほ場の形状を自動で認識し航行するので、使用可能です。

Q9 使用できない場所がありますか？

A GPSが入りにくい場所ではアイガモロボが航行できない場合があります。また、稼働制限(盗難対策)機能をONにしている場合、稼働可能なエリア外に出てしまうと稼働できなくなります。稼働制限機能を誤って作動させてしまった場合はパスワードを入力することで、稼働制限を解除できます。

Q10 アイガモロボの保管方法で気を付けることはありますか？

A 使用しない時は必ず電源を切り、直射日光の当たらない室内で保管してください。なおブラシを装着したまま地面に長時間置くとブラシが変形しますので、保管の際はブラシを取り外すなどブラシに力がかからない状態にしてください。また、長期保管の前後は、充電モードにして直射日光下で4時間程度充電をしてください。

主要諸元

名称	自動抑草ロボット「アイガモロボ」	
型式名	IGAM2	
機体寸法	全長(mm)	900
	全幅(mm)	810
	全高(mm)	253
重量(kg)	6	
推進方式	ブラシ方式	
動力	モータ(最大出力108W)	
動力源	太陽光発電(ソーラパネル発電量12V 50W)	
バッテリー	リチウムバッテリー(容量12V 7.8A)	
運行方法	自動制御による無人航行	
推奨稼働面積	10a～1.5ha/1台	
1日の稼働時間	推奨:2時間以内/10a ※最大10時間まで推奨	
専用アプリとの接続方法	Bluetooth	

●この諸元は改良のため予告なく変更する場合があります。●商品は写真と異なることがあります。

+安全は私たちの願いです。
●製品のお取扱いに当っては製品に添付されている「取扱説明書」をご熟読のうえ、安全に注意してご使用ください。
●ヘルメットは必ず着用し、作業に適した服装で安全確保を心掛けましょう。
●事故や故障を未然に防ぐため、点検整備を必ずおこなってください。
●無理な運転は商品の寿命を縮め、事故や故障の原因となることがあります。

製造事業者

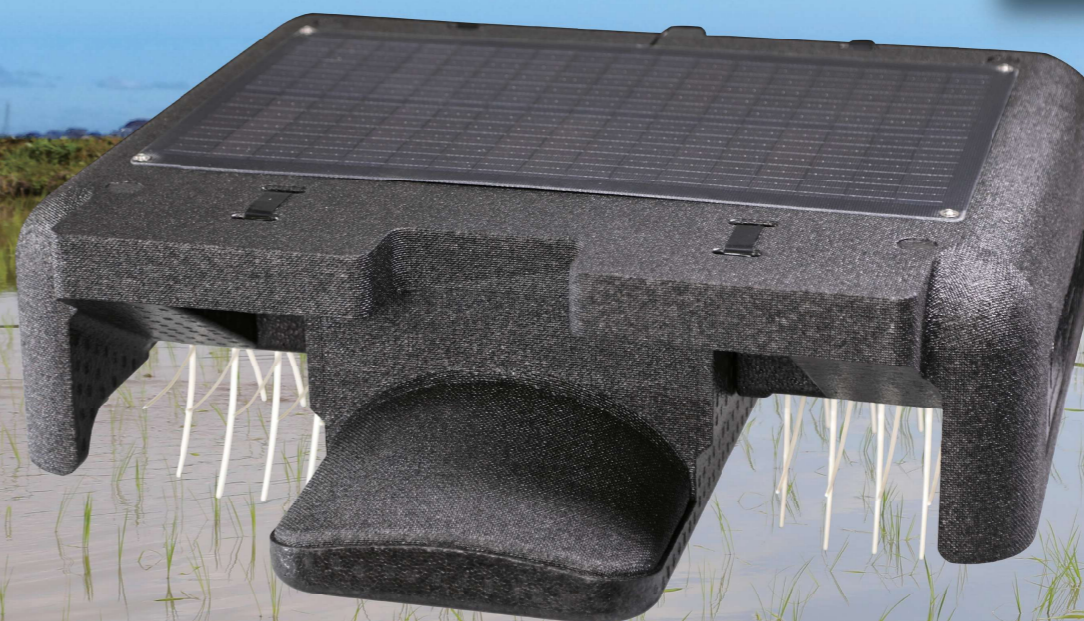
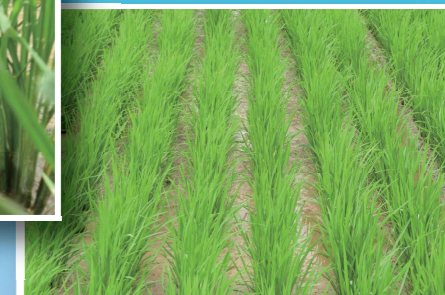
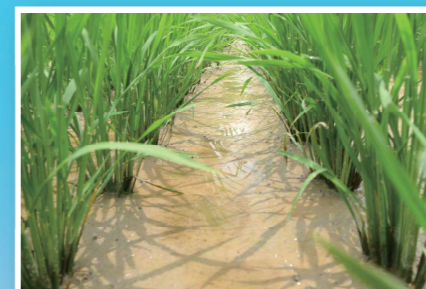


ISEKI マスコットキャラクター きなえ

自動抑草ロボット

アイガモロボ[®]
2

第11回 ロボット大賞 【農林水産大臣賞】受賞



次世代の雑草対策!

にごりで抑草

雑草対策はアイガモロボで自動化!



水の「にごり」で雑草抑制

アイガモロボのコンセプトは除草ではなく「抑草」です。独自のブラシ機構で航行しながら土をかき上げ水をにごらせます。このにごりが田んぼ全体に広がり、太陽光を遮ることで雑草の光合成を阻害し生育を抑制します。また、かき上げた土がトロトロ層（やわらかい土の層）を形成し、雑草種子を埋没することで抑草効果を発揮します。

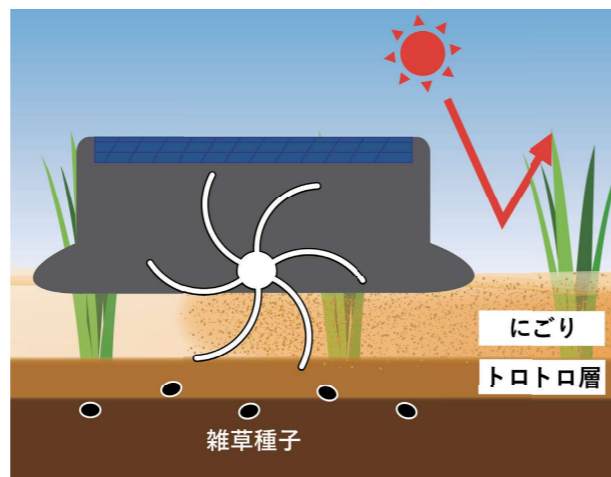


本体左右のブラシ機構



株間も抑草

田んぼに浮かんで稲の上を縦横無尽に動き回るため、条間だけでなく株間にも抑草効果を発揮します。



Point 雑草対策の自動化で田植え作業との競合を回避

田植えが長期に渡る大規模経営では、田植え作業が終わりきる前に有機栽培ほ場の雑草対策が始まるので、田植えと除草作業が重なってしまいます。アイガモロボなら自動で雑草を抑草してくれるので、田植えに集中しつつ雑草対策を行えます。

全国各地で抑草効果を発揮

● 幼穂形成期における雑草乾物重^{*}の調査結果（2024年全国実証試験）

山形県鶴岡市 (40a)



雑草量
28.8 g/m²

兵庫県丹波市 (30a)



雑草量
39.4 g/m²

沖縄県竹富町 (50a)



雑草量
1g/m² 未満

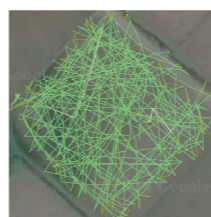
^{*}有機栽培で目標とされる雑草量：50g/m²以下（参考：新潟県農業総合研究所）

使いやすい シンプル設計

ルート設定は不要 ^{New} 電源を入れるだけで自動航行

電源を入れるだけで自動航行を開始。あぜにぶつかることで田んぼの形状を学習しながら網目状にくまなく航行します。

- ※ほ場面積に応じて1日の稼働時間を調整します。
- 推奨稼働時間（1日あたり）2時間以内 /10a



画像 ©2024 Google
地図データ画像 ©2024 Airbus,Maxar Technologies



新設計で軽量化 6kg ^{New}

ひとりでも持ち上げやすい重量で、田んぼへの出し入れや運搬もラクラク。



ブラシ機構で高い走破性 ^{New}



新採用のブラシが地面を捉え、航行能力や部分的な浅瀬での走破性が向上。ブラシは柔軟性と弾力を備えた素材の採用で、丈夫かつ苗へのストレスを最小限に抑えます。

また、ブラシ航行により従来機に比べてほ場適応面積が拡大しました。

- 推奨稼働面積 10a ~ 1.5ha/台

ソーラーパネルで充電

クリーンな太陽光のエネルギーで充電しながら動き続けるため、燃料いらずで手間がかかりません。

専用アプリ（※iOS/Android™ 対応）で詳細な設定が可能です。

- ・軌跡確認
- ・呼び寄せ機能
- ・稼働時間調整
- ・稼働制限（盗難防止）など



※仕様は予告なく変更される場合があります

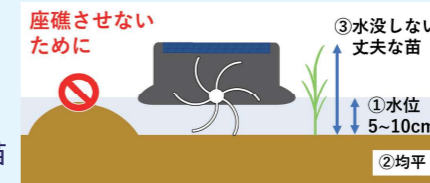
抑草を成功させるポイント

～使い方～ アイガモロボは田植え後、苗が活着してから田んぼに投入し、3~5週間太陽の出ている昼の間に動かし続けます。

☝ 3つのほ場条件を整える

抑草効果を発揮するにはアイガモロボがスムーズに航行し、水をにごらせ続けることが重要です。アイガモロボは水に浮かんで航行するため、ロボが座礁しないように次の3つの条件を整えましょう。

- Point ①水位 5~10cm
- ②均平 ①の水位で苗が水没したり、土が水面から露出する部分がない程度
- ③水没しない丈の、太くて丈夫な苗



《稼働スケジュール》

ほ場の準備

代かき

田植え

ロボ投入

田植え 3~5 日後

苗が活着してから投入します。代かきから田植えの間が3日以上空く場合はその間もロボを稼働させましょう。

水位 5~10cm をキープ

ロボ引き上げ

草丈 30~40cm(投入後 3~5 週間) 稲の抵抗でロボの動きが悪くになったら引き上げます。

☝ 苗が活着したらすぐにロボを投入する

苗の活着前に投入してしまうと苗抜けが起きる可能性がありますので、必ず活着後に投入します。活着後は、投入まで日数が空きすぎると先に雑草の生育が始まってしまうので、活着したらすみやかに投入しましょう。投入期間は3~5週間です。



☝ 稼働時間を調整する

Point 1日の稼働時間は2時間以内 /10a

長時間の稼働により稲の生育が妨げられる場合もありますので、1日の稼働時間は2時間以内 /10a にします。*ロボの通過後、苗が起き上がらないことがあります。丸1日以上起き上がらない場合には一時的にロボを休ませましょう。軟弱徒長気味の苗だと特に起こりやすいので注意しましょう。

複合的な雑草対策を

アイガモロボのコンセプトは除草ではなく「抑草」なので、効果についてはにごり具合や雑草の量・種類により異なります。水管理や除草機などと組み合わせた複合的な雑草対策を行うことで、抑草効果をさらに高めることができます。

3~5週間入れっぱなし